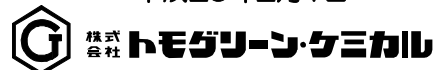


ご挨拶

平成29年2月1日

2017年最初の管理ポイントになります。1ヶ月遅れになってしまいましたが、今年も浸透剤をはじめとした弊社商品と共にターフメンテナンスのサポートに努めてまいりますので宜しくお願い致します。



ホームページアドレス
<http://www.tomo-green.com/>

第142号

1・2月の管理ポイント

まだまだ寒い日が続く、空気も乾燥しています。そして土壌も非常に乾燥しやすくなっています。この時期の土壌の乾燥が土壌の撥水性物質を増加させ、夏のドライスポットをはじめとした乾燥害へつながっていきます。レボ・プライマーセレクトなどを処理して、土壌を撥水させないようにすることが重要です。

新商品のお知らせ



グリーンシナジー 新発売！

液肥をより効率的に...

グリーンシナジーは米国アクアトロールス社のシナジーテクノロジーを使った浸透剤です。

シナジーテクノロジーとは、芝生に施用した資材や肥料を根圏に導き、効率よく植物に吸収され利用されることで、資材や肥料の溶脱を低減し、利用効率を高める界面活性剤の特許技術です。2種類の特別な界面活性剤の組み合わせは、資材や肥料との相溶性が高く、相乗効果（シナジー）をもたらします。

使用量：1～2ml/m²/月 散布水量：100ml～1ℓ/m² 使用方法：資材の散布時にタンクミックス

春先に向けて



レボ (REVO)

春先の水管理が重要です...

春の水管理が芝生の根をしっかりと伸ばすポイントです!!

レボは土壌粒子の表面を水の薄い膜で覆いますので、土壌中の気相が増え、常に根が下に伸びやすい環境を整えます。常に土壌の表層の気相を多く保つためには、定期散布が重要となってきます。根をしっかりと伸ばして、夏が来るまでに準備しておきましょう。

使用量：2ml/m²/月 散布水量：200ml～500ml/m² 散布回数：1ヶ月に1回～2回

除草剤散布のマーキングには...



カラーマーカール

春の除草剤散布の際、散布区識別のマーキングにご利用下さい。

食用色素を主成分とした、環境にも配慮された商品ですので、安心してご使用いただけます。

リキッドタイプのため濃淡(倍率)調整が容易になり、価格も経済的です。

使用量：3000～5000倍

病気の予防に...



グリーンオキシラン水和剤

有機銅とキャプタンを有効成分とした、基礎防除剤です。一般の有機銅剤と違い、溶液が緑色のため、芝の見栄えを損なうことなく使用いただけます！

バントグラス・日本芝

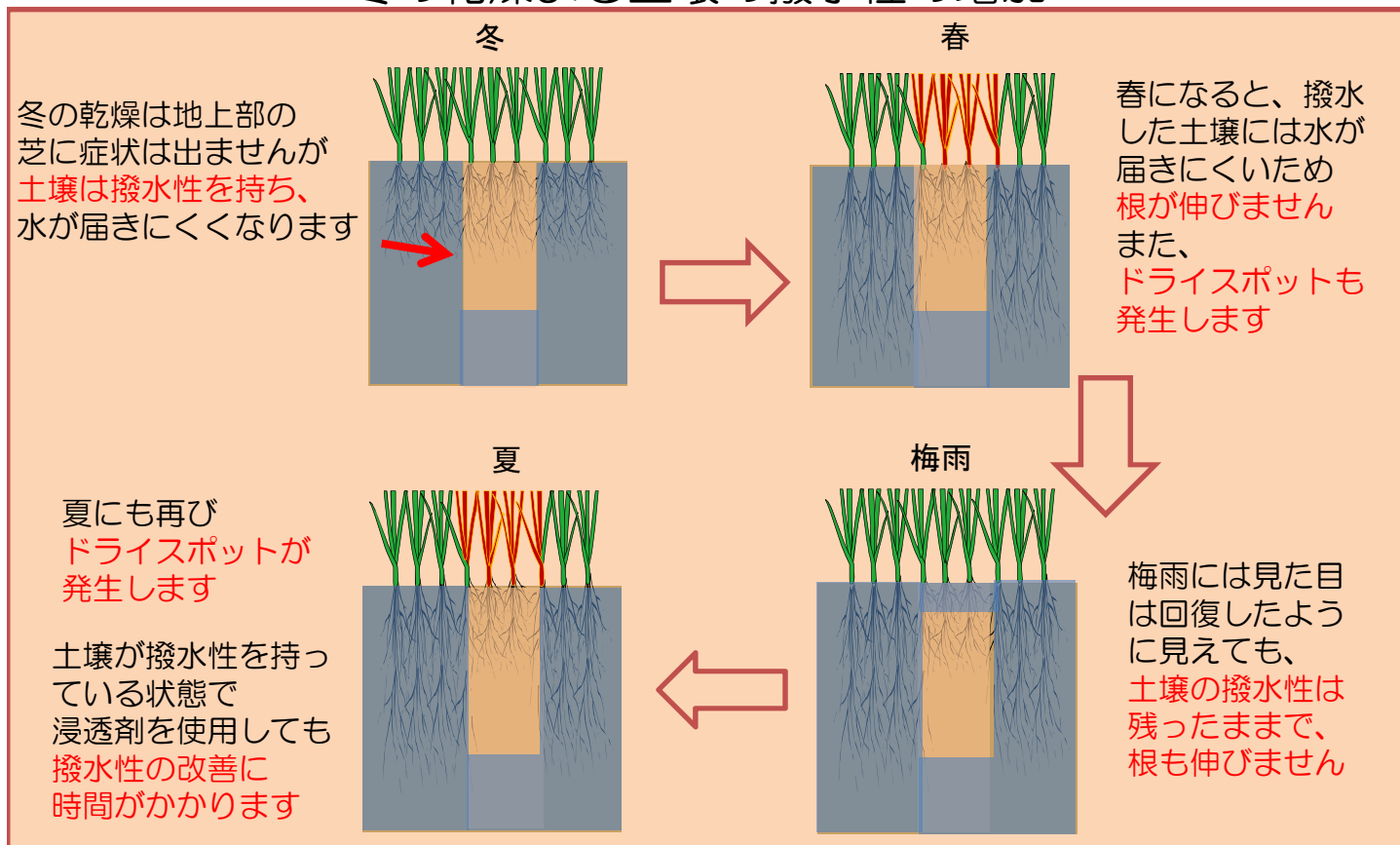
希釈倍数：500倍

散布水量：1ℓ/m²

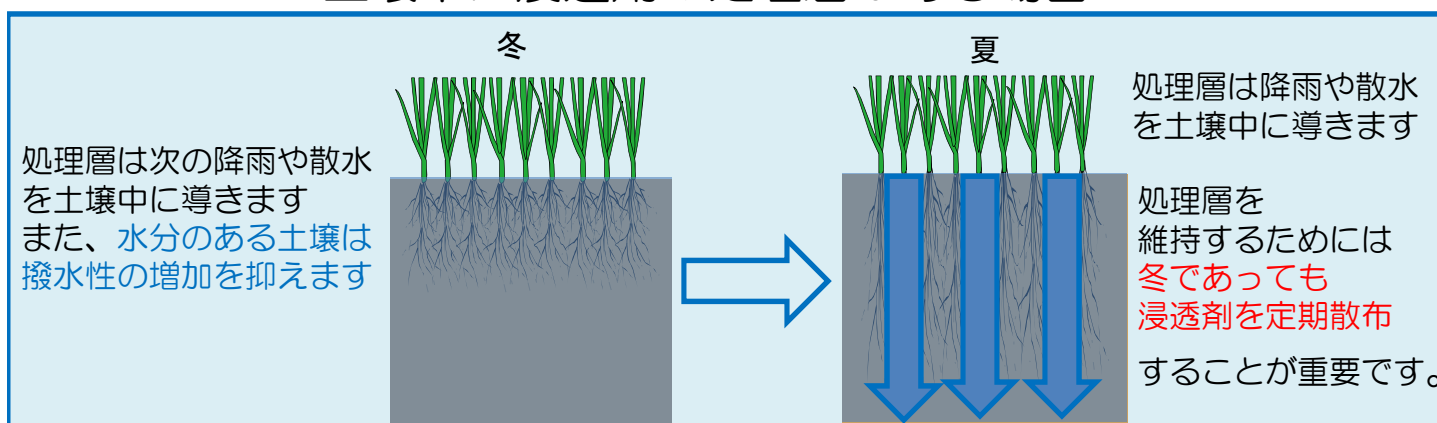
冬の乾燥は夏のドライに至る

夏場のドライスポットでは、浸透剤を発生時期直前に処理しても十分に予防できない場合や、発生後に処理しても回復に時間がかかる場合があります。その原因は、土壌が乾燥した状態が続くと土壌の撥水性物質が増加してしまうからです。撥水した土壌は水が浸透しないため、ドライスポットなどの乾燥害につながります。撥水性物質が増加した土壌では浸透剤を使用しても、改善させるのに時間がかかってしまいます。

冬の乾燥による土壌の撥水性の増加



冬にも浸透剤を定期処理して土壌中に浸透剤の処理層がある場合



冬のドライは発見しにくい上に、放っておくと根本的な土壌粒子の撥水性を招き、シーズン通してドライ発生の原因となります。こうした事態を避けるためには、グリーン内の乾燥しやすい箇所を把握し、冬でも浸透剤を定期的に散布するなど、意識的な水管理を行うことが重要です。